

# 目 次

はじめに	1
第1章 本県の産業及び知的財産の状況	
1 日本及び本県産業の状況	2
2 本県における知的財産の状況（国内）	3
3 本県における知的財産の状況（国際）	4
4 現状から導き出された本県知的財産の課題	4
第2章 知的財産活動の基本方針	5
第3章 知的財産活動を支援する体制の構築	6
第4章 基本方針に即した施策展開	
1 知的財産の重要性を認知する気運の醸成と人材育成	
■知的財産権に関する気づきの場の提供	7
■発明や創意工夫に対する表彰の実施	7
■優秀デザインに対する表彰の実施	8
■若年層に対する発明奨励事業の実施	8
2 知的財産の創出支援による企業アビリティの向上	
■技術の高度化及び新技術・新製品の開発支援	9
■産学官連携による研究開発の推進	10
■発明のインセンティブを確保し創造を促進する環境の整備	10
■デザインを活用した製品等の高付加価値化支援	11
3 競争力強化のための知的財産の保護・活用	
■知的財産支援に関するワンストップ窓口の設置	12
■ワンストップ窓口と連携した知的財産に関するコーディネーターの配置	13
■知的財産の保護・活用のためのセミナー等の開催	14
■国内・海外における特許権等の取得支援	15
■優良デザイン認定によるブランド化支援	15
■農産物に関する知的財産の包括的支援	15
参考資料	
○知的財産権の種類	16
○産業財産権の概要	17
○産業財産権取得までの流れ	18
○国際出願の流れ	22
○産業財産権関係料金一覧	24
○審査請求料・特許料の減免制度	25
○平成23年度広域関東圏における中小企業の知財活用調査報告書（抜粋）	26
○とちぎ知的財産活性化懇談会設置要領	27
○とちぎ知的財産活性化懇談会委員名簿	28